

### ●関東一部リーグでの優勝を目指して

昨年関東二部リーグで優勝し、今年から一部リーグに昇格します。この関東一部リーグというのは、J1、J2、JFLの次に位置づけられています。

J1、J2はプロ、JFLはアマチュアの最高峰で、「日立栃木」はこのJFLリーグにいます。ヴェルフェたかはら那須にとってはライバルに先を越された状況です。

選手たちはなんとしても関東一部リーグで優勝しJFLに進出したいと頑張っています。そのため今年からは、S級の指導資格を持つアルゼンチンのホルヘ・リカルド・ロッシ(通称ピポ)氏を総監督に迎え新たなスタートに備えます。

### ●矢板運動公園がホームグラウンド

**サポーター大募集!**  
詳しくは <http://www.t-nasu.com/>  
または Tel. 0287-43-3189



計14試合をしますが、その7試合のホームゲームのうち6試合を運動公園でやることとなります。(1試合は宇都宮)

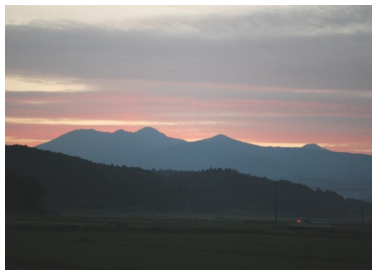
このホームゲームの時は、会場整理などのボランティアス タッフが必要になるので、ぜひボランティアに協力していただい て、同時に一緒にサッカーを見て応援して欲しいとのこと。

**なんで「ヴェルフェたかはら那須」?**

「NPO法人たかはら那須スポーツクラブ」の理事長の大森さんは岡山県西大寺の出身。日本大を卒業した昭和55年の「栃の葉国体」のときに矢板が少年サッカーの会場になった事で社会体育指導職で募集があり市の職員に。そのときに初めて見た高原山の雄大さにひかれ、田舎を生かしながらのスポーツ振興もいと思ったそうです。

ですから、NPO法人を立ち上げる時も「たかはら」にこだわり、「たかはらを売ろう!」と強く主張したとか。

ヴェルフェ (Vertfee) は、フランス語で「緑の葉」。「妖精・ree」を組み合わせた造語。それに「たかはら那須」を加え、県北全域をサッカーで盛り上げようとみんなで考えました。深い緑色がチームカラーです。



この地元チームの支援に一人でも増やしたいのはいろいろな方法があります。

試合のユニフォームや、練習に必要な物を援助したり提供するスポンサーやサプライヤー。団体、個人が登録するサポーター。そのほかの寄付など。

どんな支援も大歓迎ですが、個人サポーターになって一緒に試合を見て応援してくれる人を矢板市民の中で

サポーターインクメンバーになるための申し込みは最低一口二千円で、年二回の活動報告書や試合予定などの情報提供があります。また口数の多い人には、タオルマフラー、Tシャツ、ゼントなどの特典も。

詳しくは、上の「ヴェルフェたかはら那須」ホームページをご覧ください。

## 直撃インタビュー

### 個人サポーターインクメンバーに

ご夫婦でヴェルフェを熱烈に応援しているという那須塩原市に在住の堀井裕子さんに電話で直撃インタビューしました。

#### ★なぜサポーターに?

もともとサッカー観戦が好きで10年前から栃木SCを応援していました。でも、J2でプロチームになってしまいました。プロは勝つためにお給料をもらってそれを仕事で練習するのは当たり前。

私は、アマチュアのチームで仕事を持ちながら頑張っている人が好き。仕事で疲れているにもかかわらず好きなサッカーのために練習をやっている姿に打たれます。

基本的には地元で一番近いチームだし、私も高校は矢板。主人の勤めも矢板なので…。

★サポーターになって良かったと思う事は?

勝ったときの喜び! 負けたときは悔しいけど次に頑張りたいと思う。そんなふうに見えるので、私はほかに趣味がないので、オフシーズンは楽しみが無くなってしまいがちです。去年は天皇杯で京都サンガ戦を応援するためにアウエーの京都まで娘と出かけました。矢板市の旗を買って、京都の空に掲げてきました。感動しました。

#### ★ヴェルフェに今後期待することとは?

頑張って一部リーグで優勝しJFLに上がって欲しいのはもちろんですが、練習できる環境が良くなって、時間が増えるといいと思います。それが結果につながると思うので…。

★これからどんなサポートをしていきたいですか?

ホームが近いので応援する人、特に若い人が増えるといいなと思います。また座って応援するのではなく立ってコールしながらまとまって応援してくれる人が増えるといいなと思うので、一人でも二人でも口コミで誘おうと思っています。



矢板運動公園をヴェルフェ(ヴェルフェのスタジアム)と呼んでいる人がいて、その人は自分のブログで「ヴェルフェをサポーターで一杯しよう!」と訴えています。

ぜひ皆さんもホームの試合に足を運んで、コールしている若い人たちの中に交じって応援してみてください。気持ちいいですよ!